



比八田地区でミニデイを開催

地域貢献活動の一環として、JA助け合い組織「いきいき会」は比八田集会所でミニデイサービスを開き、地域住民や助け合い組織会員など約20人参加のもと、全員で楽しい時間を過ごしました。

はじめに、いきいき会の由利弘子会長が「ミニデイを通して、年を重ねても寝たきりにならないよう、頭と体を使っていつまでも健康で過ごしていきましょう」とあいさつ。

ミニデイは、二ツ井の助け合い組織会長の藤田ミヤ子さんが講師を務め、タオル体操で腕を上げたり、足を伸ばしたりと全身のストレッチで体をほぐした後、歌を交えた健康レクリエーションやチーム対抗のボール渡しリレーなどを行いました。白熱したリレー対決では、「はいっ、はいっ」と声を出しながら隣の人にボールを渡したり、ボールが体のまわりをうまく回らず会場の笑いを誘う人がいるなど、参加者たちは笑顔で楽しく心身をリフレッシュしました。参加者からは「寒くなり体を動かす機会の無い中、こういう会を開いてもらいとても楽しかったです。たくさんの人とも話すことができたのも良かったです」と話してくれました。



←タオルを使って全身のストレッチをする参加者



→笑いながら楽しんだボール渡しリレー

新春講演会と女性部との意見交換会

女性部二ツ井地区では1月12日、第3回目の冬期講座として新春講演会と役職員との意見交換会を二ツ井公民館で行いました。

新春講演会では、佐原専務が「JA自己改革と女性部による地域の活性化」と題した講演を行い、地域と地域農業の現状やJAが取り組んでいる自己改革の説明などをしました。佐原専務は「JAを利用する人はもちろん、しない人にもJAの取り組みを知らせる必要がある。地域活性化を目指すには女性部活動が重要になってくる」と話し、女性部員らは真剣に講演を聞いていました。

その後、JA役職員との意見交換会が行われました。部員らは各地区にわかれ、そこに1~2人のJA役職員が加わって意見交換が始まりました。部員からは「JAで年金受給している人に誕生月にプレゼントをしたらどうか」、「支店だけでなく営農センター配送センターの対応も良い」といった、日ごろ部員が感じていることやJAへの意見・要望が数多く出され、活発な意見交換となりました。これらの意見・要望は、生活課職員がとりまとめ、組合長はじめ各担当部署へ伝えることになっています。

